

神戸大学ヨット部

News Letter



目次

- ・活動目的/部是の制定について
- ・春季選手権大会結果報告
- ・春季選手権の所感
- ・オープンレガッタ結果報告
- ・オープンレガッタの所感
- ・国公立戦結果報告
- ・国公立戦の所感

はじめに

お世話になっております。2回生広報補佐の大石陽花と申します。

向夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、広報補佐としてニュースレターの執筆をさせていただいております。先輩方のご指導を仰ぎながら、部の活動や大会の成果を分かりやすく丁寧にお伝えできるよう努めてまいります。

今回は、新たに制定された活動目的および部是のご報告と併せて、春季選手権大会・5月オープンレガッタ・国公立戦の結果についてご報告申し上げます。

OB感謝DAYのご案内

平素より神戸大学ヨット部の活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

今年も日頃の感謝の気持ちを込めて「OB 感謝 DAY」を開催いたします。

現役部員とのささやかな交流を通じて、ヨット部での懐かしい日々を思い出していただけるようなひとときとなればと願っております。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ぜひご参加賜りますようお願い申し上げます。

開催日時：令和7年8月17日（日）13:30～18:00予定

会場：新西宮ヨットハーバー

参加費：無料

ご多用中とは存じますが、皆様にお会いできることを、現役部員一同心より楽しみにしております。

活動目的・部是の制定について

日頃より現役の活動にご協力・ご支援いただきありがとうございます。監督の池崎（2019年卒部）です。

5月10日に行われましたOB総会において、
【神戸大学体育会ヨット部における活動目的・部是の制定】が承認されましたのでご報告いたします。

突然ですが、4年という時間は人生の中では短い期間です。

しかしながら、大学生活においては、自由に使える時間が多く、体力もあり、脳機能も活発です。人生の中では短いながらも最も可能性に満ち溢れた期間でもあるとも思います。

そんな貴重な4年間の大半の時間とお金をも部活動に捧げる理由は何なのでしょう？

学生の立場では、ヨットが好きだから、チームメイトが好きだから、勝ちたいから、いろいろな理由があると思います。

一方で監督の立場では、学生が心身ともに成長するためであると思います。

実際に2年間監督を務めて、最後の勝敗がどうであろうが、人として成長していった学生を何人も見てきました。ただそれは、たまたまヨットのことを好きになってがむしゃらに努力することができた学生たちの結果論であって、正しい努力の方向性を示すものが当部にはありませんでした。

そこで、正しい努力の方向性を示しマイルストーンになり得るものを制定したいと思い、若手OBを中心とした検討部会を立ち上げました。他大学を参考にしながら議論を重ね、

【活動目的:人間力の共創】、【部是:情熱・敬愛・自律】を決定し、この度のOB総会により確定いたしました。

【人間力の共創】というのは、大学を卒業した後に社会にとって有為な人間となるための基礎的かつ普遍的な人間としての魅力を養うことです。

また、その過程において、チーム内で悪いところは指摘しあったり、良いところは見習ったりして高め合って欲しいという願いを込めて共創という言葉を選定しました。

活動目的をより具体化した正しい行動指針として部是を位置付けています。

【情熱:ヨットとヨット部に情熱を注ぎ、妥協のない努力を重ねること】

【敬愛:チームメイト、ライバル、その他すべての支援者と艇具への敬意と愛情を体現すること】

【自律:いかなる状況においても、チームの規律を遵守し、責任を持って個人の役割を全うすること】

これらは人間力を高めるための手段であると同時に、勝利を掴み取るために必要な資質であるとも考えています。

今回制定された活動目的・部是が定着していくよう、私自身も言動を顧みながら現役部員と接していきます。

また、人間力を共創しながら部員同士が高め合うことで、両クラス全日本インカレ出場を叶えることができると考えておりますので、これからも応援のほどよろしく願いいたします。

活動目的

人間力の共創

部是

情熱

ヨットとヨット部に情熱を注ぎ、妥協のない努力を重ねること

敬愛

チームメイト、ライバル、その他すべての支援者と艇具への敬意と愛情を体現すること

自律

いかなる状況においても、チームの規律を遵守し、責任を持って個人の役割を全うすること

春季選手権大会結果報告

470級(全18チーム)

8位 神戸大学A 282点
4815 市川・池田
4801 続・稲岡
4741 酒井・下山

14位 神戸大学B 450点
4623 太田・加藤さん/信野さん
4412 近藤・山下さん

スナイプ級(全18チーム)

11位 神戸大学A 353点
31730 浅井・澤本
31493 大島・川瀬
31367 出光・岩田

17位 神戸大学B 532点
29072 鍋谷さん・池谷

詳しい成績は、以下のリンクよりご確認ください↓

<https://ameblo.jp/kobeyacht/entry-12900198152.html>

春季選手権大会の所感

3回生/470スキッパー続将



お世話になっております。3回生470リーダーの続将です。

今年から春季新人戦から春季インカレに名前が変更され、成績も個人順位ではなく団体順位として計算されるという、関西インカレを想定した大会になりました。その中で神戸大470チームの目標は団体成績3位でした。

スタートで他大学よりも前に出れば有利にレースを展開できると思い、4月はスタート練を中心に練習しました。僕自身1ヶ月のスタート練でかなり上達を感じ、スタートには自信を持ってました。

今回の春インから、温存しておいた4801と4815を下ろし、僕は4801でレースに臨みました。1日目は軽風で、スタートの加速で他艇よりも前に出せず、その後の帆走でも他艇に置いていかれ、軽風のスピードに課題を感じました。2日目は得意の強風でしたが、もったいないミスで沈をしまい順位を落としてしまいました。

2日間のレースが終わり、団体成績は8位でした。前を走ってチームを引っ張っていかないといけない立場の僕が不甲斐ない順位を取ってしまい非常に悔しいです。

春インを終え、チームの今の課題はスタートと、帆走力だと感じました。これからはよりレースを意識した練習を心がけていきたいです。また、個人の課題として軽風のスピードをいち早く上げる必要性を強く感じました。僕に乗る4801はチューニングに敏感だと思います。チューニングについての知識を深め、これからの練習で色々とセッティングを試してみたいです。4801のスピードを最大限に引き出したいです。

春インの反省を活かし、次は団体成績3位を取れるようにチーム一丸となって練習に励んでいきます。これからもご期待、応援よろしくお願ひします。

春季選手権大会の所感



3回生/スナイプクルー岩田優人

お世話になっております。3回生スナイプリーダーの岩田優人です。
春インを通してスナイプチームとして、スタートの一連の動作、強風コンディションでの帆走力について明らかな課題が見えました。特に2日目の強風では自分は下級生スキッパーとのペアということもあり、安全面を考えると出艇しないという選択肢を選ばざるを得ず、仮に団体戦で同じ風が吹いた場合に全く勝負にならないという厳しい現実を突きつけられました。他の艇も、強風のクローズ帆走で明らかに走り負けてしまい、まずこれからの期間で帆走力を早急に鍛える必要性を強く感じました。1日目の軽風コンディションではスタート技術の無さが露呈した結果だと受け止めています。風も片振れで、レース展開も非常に難しいコンディションでしたが、前を走っている関西学院大学などは片振れでも振れている海面を常に走っていたので、ここに現れている差をしっかりと分析して次回以降のレースに活かしていきたいと考えています。

春季選手権大会の所感



3回生/スナイプスキッパー大島尚也

はじめまして。3回生スナイプスキッパーの大島尚也です。
今年から神戸大学に編入学しました。よろしくお願いいたします。
春インの目標として、団体成績で関西水域4位、個人成績で学生6位を目標にして臨みました。初日はスタートで第一線に出ることができず良い順位を取ることができませんでした。
2日目は平均10m/sの強風でのレースでした。初日に課題だったスタートはラインの真ん中付近で下のスペースに余裕をもつことで出ることができましたが、その後他艇に抜かされていき他大学との帆走力の差を感じました。最終レースではバングが壊れてしまいDNCとなりました。
大会全体を通して特に大きな課題はスタートと整備だと感じました。最近ではスタート練習を多くしているのでこの期間で身に着けられるようにしたいです。整備については船にふれる時間を増やすことで小さな変化でも気づけるようになりたいです。次の大会ではもっと前を走れるように頑張ります。

オープンレガッタ結果報告

470級 (全24艇)

2位 市川・池田 (14点)

7位 続・稲岡 (29点)

14位 近藤・下山 (59点)

16位 酒井・太田 (65点)

スナイプ級 (27艇)

4位 大島・川瀬 (21点)

9位 寺岡・延本 (43点)

12位 浅井・澤本 (54点)

16位 出光・岩田 (59点)

オープンレガッタの所感

4回生/スナイプクルー川瀬翔太



お世話になっております。

4回生スナイプクルーの川瀬翔太です。

今回のオープンレガッタでは、「総合3位以内」、そして「セッティングを常に合わせ続けること」を目標に挑みました。

両日ともに風速5メートル前後の北風が吹き、低体重の私たちにとっては帆走しやすいコンディションとなりました。レースでは、風の強弱が激しく変化する中で、ジブやバングの引き具合、乗艇位置にこだわって帆走することができました。ブローに入る前にその兆候を捉えて準備できるようになったことが、この成長に繋がったと感じています。

目標としていた総合3位以内には届きませんでしたでしたが、学生の中で1位を取ることができたのは大きな自信になりました。一方で、強風下での帆走力には課題がまだまだ残っているため、今後はどのようなコンディションでも走れるよう、体重とセーリング技術の向上に一層努めていきたいと思えます。

オープンレガッタの所感

3回生/マネージャー加瀬温々香



お世話になっております。3回生マネージャーの加瀬温々香です。オープンレガッタでは主に支援艇の操船を担当しました。上回生となり、選手の近くでサポートや応援をする機会が増えた分、自分の行動が選手の安全やパフォーマンスに直結することを強く実感し、より一層の責任を感じました。今まで何気なく行っていた支援艇での動きや準備についても、その意味や目的を改めて考える良い機会となりました。この経験を今後のサポートに活かしていきたいと思えます。



【総合団体成績】

- 1位 大阪大学 (198点)
- 2位 大阪公立大学 (217点)
- 3位 神戸大学 (266点)
- 4位 和歌山大学 (411点)

【470級団体成績】

- 1位 大阪大学 (94点)
- 2位 大阪公立大学 (100点)
- 3位 神戸大学 (115点)
- 4位 和歌山大学 (188点)

【スナイプ級団体成績】

- 1位 大阪大学 (104点)
- 2位 大阪公立大学 (117点)
- 3位 神戸大学 (151点)
- 4位 和歌山大学 (223点)

【個人成績】

470級 (全16艇)

- 2位 市川/太田 (22点)
- 9位 酒井/稲岡 (44点)
- 12位 続/下山 (49点)
- 14位 近藤/池田 (85点)

スナイプ級 (全19艇)

- 4位 浅井/澤本 (25点)
- 7位 大島/川瀬 (47点)
- 8位 寺岡/延本 (49点)
- 18位 出光/岩田 (80点)

国公立戦の所感

3回生/470クルー太田希海



国公立戦はレース月間に入る前の最後のレースであり、関学、関大がない中どれだけ前を走れるかを試す良い機会でした。関西インカレで3位になるには、国公立の中でも団体成績が1位でなければならないのですが、結果は3位と全く届きませんでした。敗因としては、スタートやマーク際など小さなミス積み重ねだと思えます。ボートスピードなど技術面では負けていないと感じているため、レース月間に向けて調子を上げれるよう調整していきます。さらに、チームの状態もあまり良いとは言えないです。4月の新歓の浮ついた雰囲気はまだ残っていて、たくさん入ってくれた1年生の教育もありヨットに集中しきれていないように感じています。今回の結果が今の自分たちの実力だと受け止め、気持ちを切り替えて目標に向けて、やるべきことをやっていきたいと思えます。



おわりに

最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

今年度は1年生17名を新たに迎え、新歓活動も無事に終了いたしました。部全体が一層活気づくなか、本格的なレースシーズンへと突入しております。

レース月間においても、OBOGの皆様から変わらぬご支援と温かいご声援を賜り、選手一同、大変励みになっております。心より御礼申し上げます。

次号では、関西選手権、個人選手権大会のご報告を予定しております。今後とも、現役部員一同、さらなる成長と結果を目指して精進してまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

2025年7月

